

「元気とやま創造計画アクションプラン(R5年度版)」

政策の柱	未来とやま	政策名	19 全国や世界の檜舞台で活躍する選手の育成
政策目標	ジュニア期からの発掘・育成・強化が進み、数多くの本県選手が全国や世界の檜舞台で活躍していること。		

主な事業等

(単位:千円)

施策	内容	【参考】 R5予算額
(1) 全国の檜舞台で活躍できる選手の育成	■ジュニア期から強化に取り組む一貫指導體制の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・未来のアスリート発掘事業 将来のスポーツ界を担う人材の発掘・育成を目的に、スポーツ能力に優れた児童に対する運動プログラム等の実施を支援 ・とやまスポーツ道場事業 豊かな素質を持つ中・高校生選手を長期的に育成・強化することを目的に、県内スポーツ拠点施設等を活用した、競技別強化練習会等の実施を支援 ・スポーツエキスパート活用推進事業 － 県立学校の運動部活動に地域の優れたスポーツ指導者をテクニカルエキスパート、トレーニングエキスパートとして派遣 － 市町村が行う中学校へのスポーツエキスパート派遣に対する支援 ・競技団体に対する選手強化費補助金 合宿遠征、アドバイザートレーナー招へい、U15・高体連強化事業、強化指定事業、選手強化対策事業や事務局費を県体協へ補助し、競技力向上を目的に支援 ■主力競技等の重点強化 <ul style="list-style-type: none"> ・サッカー・野球・駅伝強化事業 重点強化種目であるサッカー・野球・駅伝について、一貫指導體制に基づいた効果的な強化策を実施 ・富山県スポーツ選手重点強化プロジェクト推進事業 県スポーツアドバイザーの指導・助言のもと、少年種別の重点強化を実施 	<p>6,000</p> <p>20,000</p> <p>12,055</p> <p>146,601</p> <p>10,500</p> <p>3,017</p>
(2) 世界レベルのトップアスリートの育成	■トップアスリートの育成 <ul style="list-style-type: none"> ・国際競技力向上推進事業 年代別全日本選手等への海外大会参加等の支援を行い、オリンピックや国際大会に出場する本県選手の増加を目指す ・富山県民スポーツ応援団トップアスリート支援事業 オリンピック等の世界の檜舞台での活躍が期待される選手等の活動を支援 	<p>2,000</p> <p>9,000</p>
(3) 強化拠点の整備の推進と有効活用	■強化拠点の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・TOYAMAアスリートマルチサポート推進事業 スポーツ医・科学に基づく一貫した体カトレーニング体制を構築し、将来オリンピックや世界で活躍できる選手を育成 ・スーパートレーナー設置事業補助金 オリンピック等で日本代表選手をサポートした経験のある専門知識を有したトレーナーが県選手を支援 	<p>9,200</p> <p>6,155</p>

<参考>

活動指標

指標名	現況 R3年度	目標		指標の説明
		R3 (2021年度)	R8 (2026年度)	
未来のアスリート指定児童数 (H17年度事業開始からの累計)	1,099人	1,103人	1,300人	未来のアスリート発掘事業における指定児童数(スポーツ能力に優れた小学生男女を対象に指定)
オリンピック大会等国際大会出場者数 (H27年度事業開始からの累計)	98人	100人	175人	各競技種目において、年間開催される国際大会(4年毎のオリンピック競技大会を含む)への出場者数
TOYAMAアスリートマルチサポート事業 指定選手数(H22年度事業拡充後の累計)	8,801人	8,590人	12,500人	医・科学的な検査・測定に基づき、トレーニングメニューの提供・指導等を実施した強化指定選手数